



# 強度行動障害者支援現場でお悩みの方におすすめ **コンサルテーションを活用しましょう!**

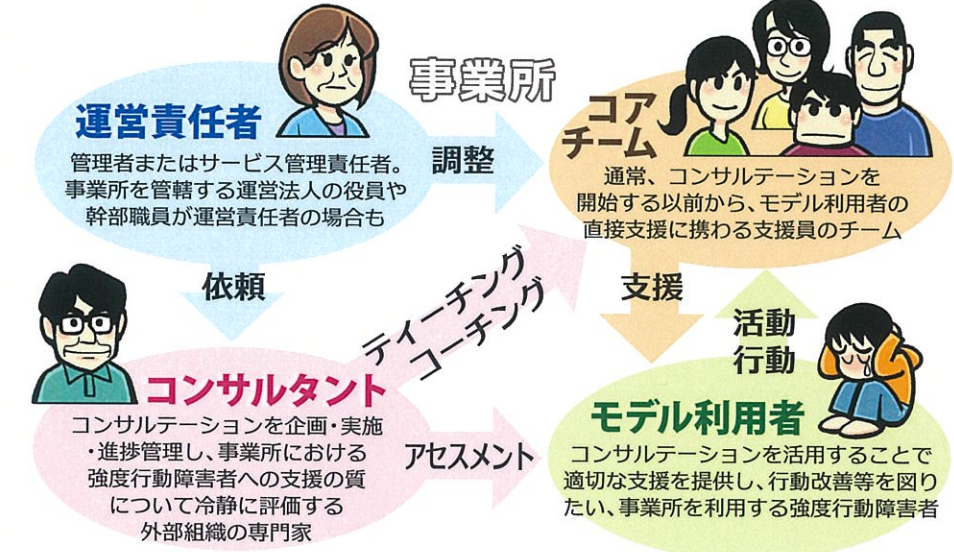
障害者支援施設 ▶ 生活介護 ▶ 共同生活援助 (グループホーム) ▶ 重度訪問介護

## 強度行動障害者支援のコンサルテーションとは?

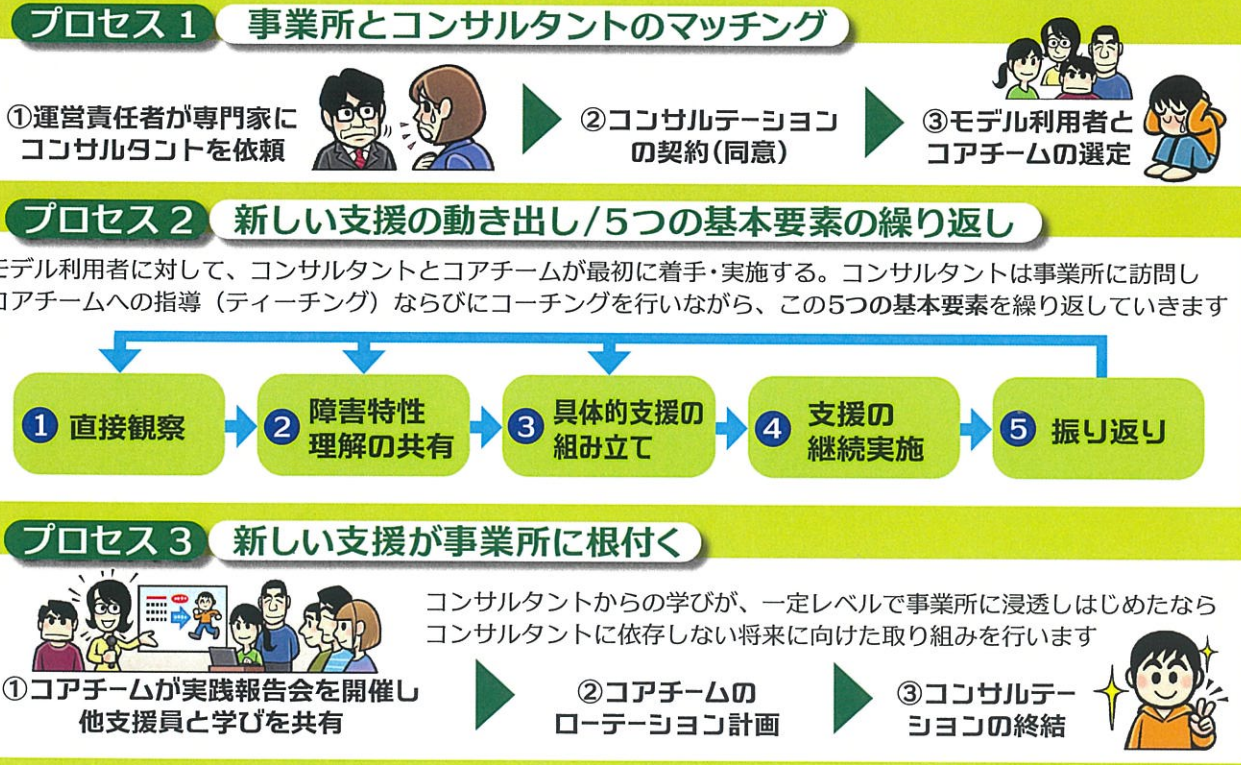
2013年度より始まった強度行動障害者支援者養成研修を全国で毎年1.5万人以上がこの研修を受講しています。しかし、残念ながら、多くの障害福祉サービス事業所では、この研修で学んだ支援方法を実践できていません。そのため専門家が事業所に訪れて支援に困っている実際の利用者の支援を通して一緒に問題解決を模索することです。

## 誰がどんなことを?

強度行動障害のある**モデル利用者**への実践を通して、適切な支援のあり方を**コアチーム**が継続的に学び続ける。そしてその継続的な学びを**運営責任者**が依頼した**コンサルタント**が効果的に企画・実施・フォローします。



コンサルテーションの流れ



★各事業所ならびにコンサルタントの条件次第ですが、「1年間」「月1回ペースの訪問」が最低ラインです。

## ケース1 加齢児の地域移行のための受け皿必要 社会福祉法人大きい空

**加齢児を地域で支援できる施設を作りたい!**

公設福祉型 障害児入所施設

しかし... **ほとんどが強度行動障害**

**決断**

**コンサルテーション導入**

新施設長候補の櫻井は2年間の準備期間スタッフと共に積極的に講演会、研修会や県内外の先駆的事业所視察した。ある講演会で中川に出会い、コンサルテーションを依頼

この人なら!

特に行動障害の激しいユニットに対して初年度は1ヶ月に二日間の契約

行動障害の激しい利用者のアセスメントはコンサルタントが行うことから

**4年後の現在**

現在も数ヶ月単位で大きな自傷や異食はあるものの一定の水準の支援が組み上がり自主的な支援も行なえるように

決して容易な道のりではなかったけど確実に導入効果は現れてきました

そろそろ次のステップの人材養成ですね

## ケース2 公費によるコンサルテーションを活用して NPO法人 希望

地域で行き場のない障害者を支えるため15年前に設立されたNPO法人希望は東部生活介護と2箇所のGHを運営

10年前から...

**強度行動障害の利用者が増加**

殴られ大けがの職員が出てから退職する支援員が急増!

うーん困った!

県の新しい強度行動障害者支援の取組があるそうですよ

薬にもすぎる思いで相談

地域支援マネージャーの吉野です

どうせまた今度も...

これまでも何度か外部の協力を頼んだことがあるが成果はほとんどなかった

**しかし吉野は今までは全く違った! コンサルテーション導入**

入念な見学・調査・聞き取りケース検討会の後、同じメンバーで月1回の定例検討会を合意後

当面のスケジュール案です

リハール、実施?初めての事ばかりだ...

メールで問題行為を報告すると即座に対策の電話

なるほどやってみます!

みなさん熱心で幸先いいですね~

先はわからないけど担当支援員はもう一人別の利用者の支援も考えましょうか

より詳しく知りたい方は下記のURLから『強度行動障害者支援者養成研修を現場で活かすために:コンサルテーション導入のガイド』をダウンロードしてください!

お問い合わせ・資料請求は

**一般社団法人 全日本自閉症支援者協会 (全自者協)**

社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所  
 〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155

<http://zenjisyakyo.com/>